

視界不良の農業情勢

生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)

政変の夏 農業にも確実に変化の波が

消費者の低価格志向のニーズに対応が迫られる

文字通り収穫の秋がやってきました。米を巡る課題は色々あっても、この収穫の喜びは何にも代えがたく、生産者だけが味わえる喜びと言えるでしょう。
ところで今年の8月は、終世忘れることのない2つの出来事がありました。その一つは高校野球で日本文理が甲子園で準優勝したことです。決勝戦の最終回はよく出来たテレビドラマを見ていたようで、感動を覚えたのは私だけではなかったと思います。高校野球史に新たな1ページを残してくれたと同時に、さわやかなナインの笑顔は新潟県民の多くに希望や元気をプレゼントしてくれましたことでしょう。

もうひとつは言うまでもなく総選挙の結果です。マスコミの予測通りというように民主党の圧勝に終わりました。自民党王国だった新潟県も全て民主党代議士一色になりました。そうした原因については識者が様々な評論をおこなっていますので私ごとが触れる必要はありませんが、とりあえず「国民の生活最優先」を掲げた民主党の政策に期待したいものです。
しかし、人間としての最低限の生活すら保障されていないような格差の是正や、安心して子育てや、老後の必要がないような当面の課題は対策を急がなくてはなりません。併せて中長期的な視点でこれまでの自民党的ではない将来展望を提示して、じっくり国民との合意形成を図ってほしいものです。



例えば農業政策ですが、民主党は減反制度を廃止して農家の直接支援に政策転換するとしています。その具体的な内容は今後検討が進められるでしょうが、先進国中最低の自給率をどう高めていくのか、担い手が安心して就農できるように農家の育成や、中山間地農業と農村集落が存続できるように将来展望を指し示してくれることを私は期待したいものです。もちろん全てがグローバル化した今日、世界貿易機関(WHO)の新多角的貿易交渉や日米自由貿易規定(FTA)等、自国だけの都合や勝手は通

用せず、世界を相手にした交渉による解決の道しかなないことが問題をより一層複雑化し、困難にしていることは承知してはいます。
さて、柏崎刈羽地域の「早期越路早生」は今年も8月中旬に初検査が終わります。すでに店頭には並んでいます。ただ、収量は6〜7.5俵と低く、品質は全量1等にはなりませんが、「越路早生」にしたままあまあといふところでした。JA柏崎では大変な力の入れようですが、毎年同じような結果であり、残念ながら早いだけが取り柄というところでしょうか。
2度目の作況が発表され、「やや不良」から「平年並み」に上方修正されました。お盆過ぎの登熟初期から最近までの天候に恵まれたお陰でしょう。日中は晴天が続く、夜は寝苦しい程の高温はほとんどありませんでした。風通しの良い我が家では何台かあるエアコンもお盆の客人のために1台を2日間だけ回しただけでした。その上に適当に雨も降ってくれましたのでこれほど登熟条件に適った天候はなかったといえます。こしいぶきに比べて葉色が濃く、当然出穂も遅かったコシヒカリが日に日に葉の黄化も進み、籾色も枇杷色になって一気に登熟が進みました。柏崎地域では9月5日現在こしいぶきの刈取りの真つ最中ですが、田の色合いだけではこしいぶきがコシヒカリかの見分けがつかない状態です。登熟歩合が上がってクズ米が少なくなり、千粒重の重い厚みのある、しかも乳心白等の少ない、結果として食味も良いコシヒカリを期待しているのですが、クズ米が多くて収量が少なかつた越路早生をみると不安な気持ちも拭いきれないのも正直なところです。

水分計 貸し出します

レンタル料金 **1,000円**

・9月~10月迄
・調整済

今一度確認を!

入庫時の玄米水分量

うるち玄米	▶ 16.0%以下
醸造用玄米	▶ 15.5%以下

水分過多の場合、検査はできません

者の家計事情が厳しくなっているのかと改めて思い知らせると同時に、他県産米の品質、食味が新潟県産コシヒカリと遜色ないほど良くなっている現状こそ私たち県内生産者の喫緊の課題かもしれません。
(内山常蔵 記)

酒米中米 JA S中米

出荷求む!!

網目は1.75以上をお願いします
・JAS米の場合、格付をしてください

等級検査は行いません
価格は中米の品質により変わります。

出荷予定のない中米のお持ちの方は
エコ・ライスまでご連絡ください。

0258 (66)0070

○右記2点を入庫の際、ご確認ください。
水分過多、記入漏れの場合はお持ち帰りいただく
場合もあります。

※B1の場合、検査記入欄(銘柄)には「コシヒカリ」、検査請求者記載欄(品種名)には「コシヒカリB1」と記入してください。

- ① 米の水分 (うるち玄米で16%以下)
- ② 米袋「検査証明書欄」の記入漏れ

検査証明書記載例

検査証明書		荷造り、包装及び左記の事項を証明する。
平成 20 年産	水稻うるち玄米	NPO米ニケーションセンター
銘柄	新潟県産 コシヒカリ	
正味重量規格	30kg	
皆掛重量	30.5kg	

検査請求者記載欄	
検査請求者	●●●●●● (生産者名)
住所	●●●●●●●●●● (住所)
代理人	(有)エコ・ライス新潟
住所	新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
生産地	新潟県
品種名	(コシヒカリB1)

●印部分は確実に記入をお願いいたします。
記載例は「コシヒカリB1」の場合です

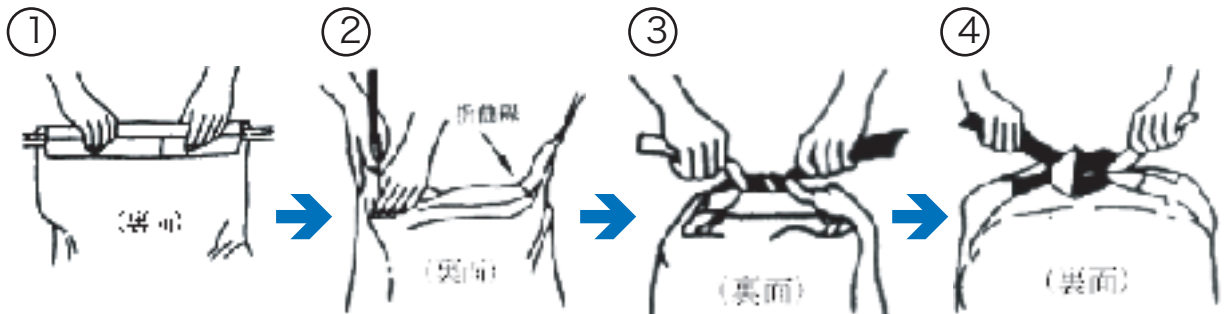
入庫の前に確認を!

30kg紙袋

適正な結び方をお願いします

検査証明書欄にハンコを明確に押印するため、正しい荷造りをお願い致します。

正しい荷造りの手順



① 米を紙袋に詰めたら、袋口の両端を持ち、表面から裏面に向かって押さえながら袋の空気を抜く。それから改めて袋口を揃える。

② 袋の表面上端を裏面に横線まで3回キチンと折り曲げる。両端から10cmの所に緑のタテ線が見えるのでその線の内側へキッチリと折り曲げる。

③ 口ひもを2回からませ真結びにする。真結びにするとき「たて結び」にならないように注意して、紐の根元の方で結ぶ。

④ 真結びが完了すると図のような形となる。

良い荷造りをするには、まず袋口を正確に折り曲げることから始まります。あらかじめ袋口からキチンと3回折り曲げて「カタ」をつけておくと荷造り作業が正確に簡単にでき、はい付けが整然とできます。

(財)全国食料調査協会 農産物検査ハンドブックより

しっかりと荷造りされていない場合、検査証明ができず、荷受けを保留又は積み替えていただく場合もあります